

---

## 食肉科研/行政情報等発信サービス

---

No.326 2022/7/20

1 「食品安全総合情報システム」公表(A型肝炎ファクトシート、E型肝炎ファクトシート)

7月15日、食品安全委員会が公表した標記システムに次の記事が掲載されている。

[https://www.fsc.go.jp/fsciis/foodSafetyMaterial/search?year=&from=struct&from\\_year=2022&from\\_month=6&from\\_day=18&to=struct&to\\_year=2022&to\\_month=7&to\\_day=1&max=100](https://www.fsc.go.jp/fsciis/foodSafetyMaterial/search?year=&from=struct&from_year=2022&from_month=6&from_day=18&to=struct&to_year=2022&to_month=7&to_day=1&max=100)

(1) 世界保健機関(WHO)は6月24日、A型肝炎に関するファクトシートを更新した。概要は以下のとおり。

1. 主な事実

- (1) A型肝炎は、軽度から重度までの疾病を引き起こす肝臓の炎症である。
- (2) A型肝炎ウイルス(HAV)は、汚染食品及び水の摂取、あるいは感染者との直接の接触を通して伝播される。
- (3) A型肝炎感染者のほぼ全員は完治し、免疫は生涯保持される。しかしながら、ごく少数だがA型肝炎感染者が劇症肝炎により死亡することがある。
- (4) A型肝炎感染の危険性は、安全な水の欠如及び不衛生な設備や不衛生状態(汚染された及び汚れた手等)に関連する。
- (5) A型肝炎予防のための安全で効果的なワクチンが利用可能である。

2. 概要／3. 地理的分布／4. 伝播／5. 症状／6. リスク集団／7. 診断／8. 治療／9. 予防／10. WHOの対応

訳注：2022年6月2日更新時からの変更点は、「10. WHOの対応」の更新(2022年5月の第75回世界保健総会で示されたHIV・ウイルス性肝炎・性感染症に関する新たな戦略、2022年の世界肝炎デー等の情報の追加)である。

<https://www.fsc.go.jp/fsciis/foodSafetyMaterial/show/syu05860360294>

(2) 世界保健機関(WHO)は6月24日、E型肝炎に関するファクトシートを更新した。概要は以下のとおり。

1. 主な事実

- (1) E型肝炎は、E型肝炎ウイルス(HEV)の感染によって引き起こされる肝臓の炎症である。
- (2) 毎年、世界では約2,000万人がHEVに感染し、E型肝炎発症者は330万症例に上ると推定されている。
- (3) E型肝炎は2015年に約44,000人の死因となったとWHOは推定している(ウイルス性肝炎による死亡の3.3%を占める)。

(4) 当該ウイルスは、主に汚染した水を介して、糞口経路で伝播する。

(5) E型肝炎は世界中で確認されているが、当該疾病は東南アジアで最もよく見られる。

(6) 中国ではE型肝炎ウイルス感染を予防するワクチンが開発、認可されているが、他の国ではまだ使用できない。

2. 概要／3. 伝播／4. 症状／5. 診断／6. 治療／7. 予防／8. WHOの対応

訳注：2022年6月2日更新時からの変更点は、「8. WHOの対応」の更新(2022年5月の第75回世界保健総会で示されたHIV・ウイルス性肝炎・性感染症に関する新たな戦略、2022年の世界肝炎デー等の情報の追加)である。

<https://www.fsc.go.jp/fsciis/foodSafetyMaterial/show/syu05860370294>